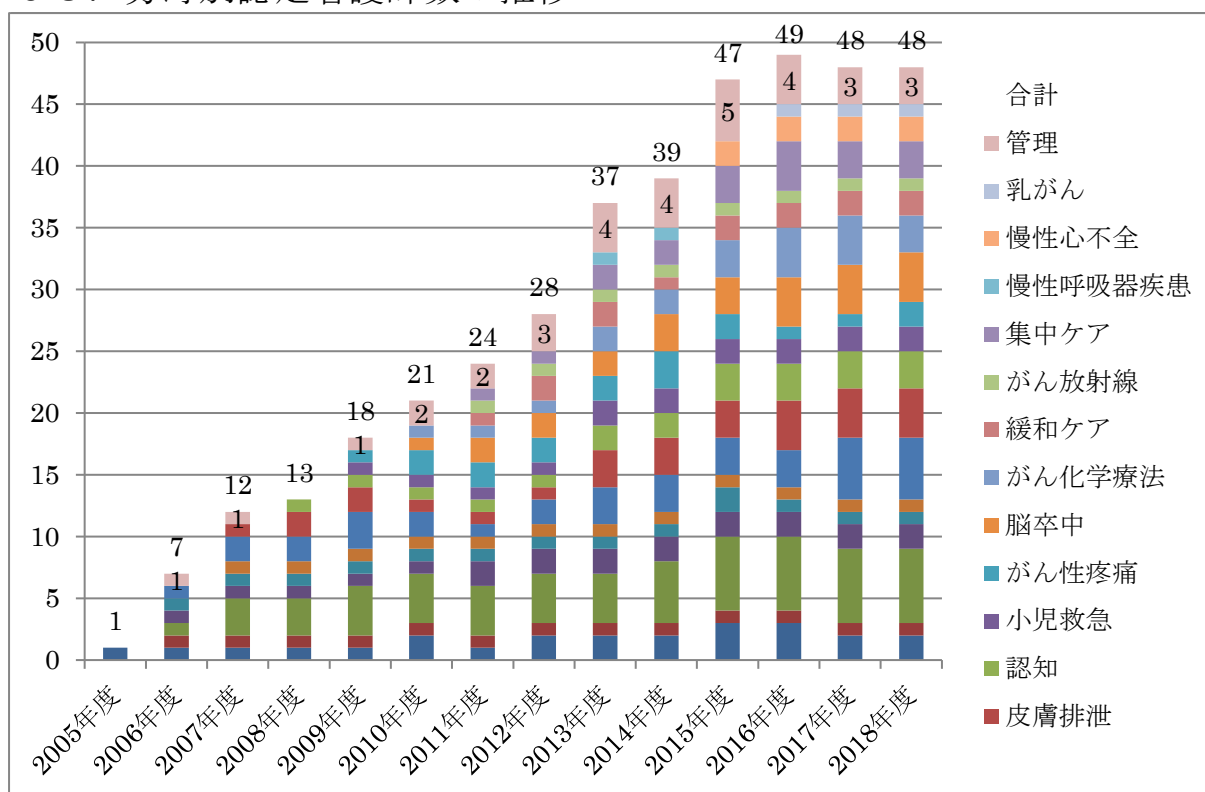


6 8. 分野別認定看護師数の推移



認定看護師は高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質向上を目的に発足した制度であり、21分野が日本看護協会にて認定されている。その役割は特定の看護分野において実践（個人・家族及び集団に対し、熟練した看護技術を用いた水準の高い看護の実践）、指導（看護実践を通じた看護職に対する指導）、相談（看護職へのコンサルテーション）の3本柱をその役割としている。

当院では1998年に最初の認定看護師が誕生して以来、質向上のための人材育成に努め、分野・人数とも飛躍的に増加している。

このグラフでは認定看護管理者も同時にあらわしているが、認定看護師と認定看護管理者は異なる分野である。認定看護管理者は組織を戦略的に発展させる能力を持ち、その育成に対するニーズは全国的に高いと言われている。認定看護管理者の資格取得のためには3つの教育課程を修了する必要があるが、その育成も計画的に実施しファーストレベル27名、セカンドレベル15名が修了している。

また、ここにはあらわされていないが、当院では急性・重症患者看護分野及び慢性疾患看護分野の2名の専門看護師が活躍している。